

空中写真解析による雲仙，普賢岳の山体変動解析*
(1993年10月と1994年1月の比較)

Ground Deformation of Fugen-dake,
Unzen Volcano, by Aerial Photograph Analysis
between October 1993 and January 1994.

地質調査所**

Geological Survey of Japan

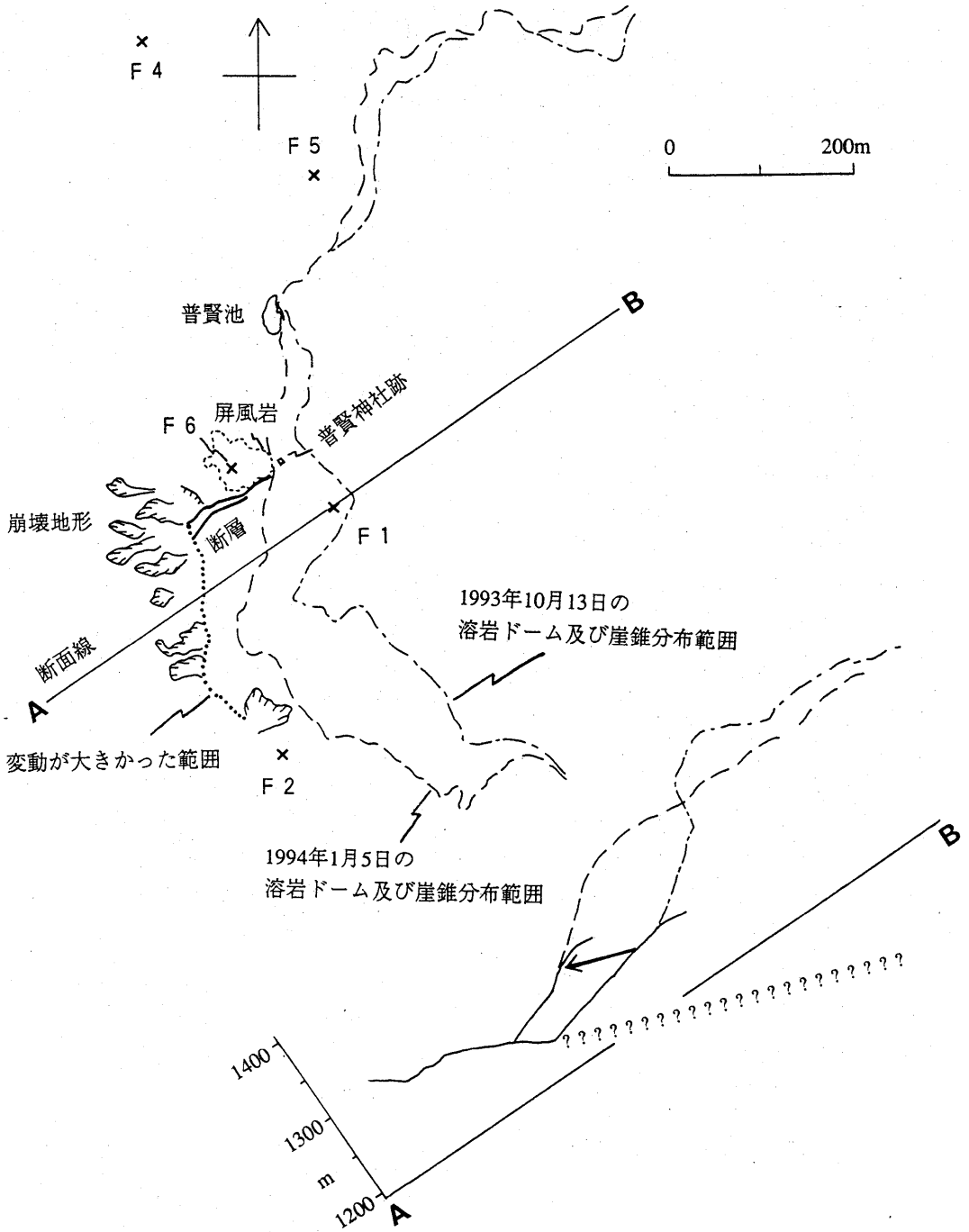
地質調査所では、撮影時期の異なる空中写真から普賢岳山頂部の地形変化を計測している¹⁾。今回の測定は、1993年10月13日と1994年1月5日にそれぞれ撮影された空中写真を用いて行った。その結果、溶岩ドームはこの期間に南西側へ著しく成長したこと、また、既存の山体では、屏風岩およびその南斜面から龍の馬場付近にかけての地形変化が顕著なことが明らかになった(第1図)。屏風岩南斜面の変動は、普賢神社の南から南西に延びた断層を境として、その南部で著しく、その先端付近ではいくつかの褶曲状の変形や小規模な斜面崩壊が認められた。今回明らかにされた山体変動の向きと変動量は、別に光波測距等で測定された結果と調和的である²⁾。

参 考 文 献

- 1) 安田 聡, 須藤 茂, 遠藤秀典(1993): 空中写真解析による雲仙火山1991年溶岩噴出活動による地殻変動, 地質調査所月報, 第44巻, 第10号
- 2) 地質調査所(1994): 光波測距による雲仙, 普賢岳の山体変動観測(1993年10月から1994年1月), 本報告

* Received 13 Apr., 1994

** 斎藤英二, 安田 聡, 須藤 茂
Eiji Saito, Akira Yasuda, and Shigeru Suto



第 1 図 1993年10月13日から1994年1月5日にかけての普賢岳山頂部の地形変化
 Fig. 1 Ground deformation around the summit of Fugen-dake between October 13, 1993 and January 5, 1994.